

# 活躍する若手消防団員に聞きました！



第2分団第3部団員  
しばた しゅうや  
柴田 修弥さん (25)

平成29年入団。上永徳寺出身。職業は自営業(仏具店)。趣味は登山、スキー。妻と2人の子もたちと暮らしている。



消防競技大会で放水する柴田さん(令和元年6月)

## ▶入団したきっかけ

地元の先輩方から何度も誘われては断りを繰り返していましたが、自分が地域の行事に参加するようになり、主体となって活動している先輩方が消防団に所属していることを知りました。消防団に所属する人との交流や、団以外での活動の幅を広げるきっかけにもなると思い入団しました。

## ▶消防団での活動

火災での消火活動、台風・豪雨など自然災害での出動や、地域への防火防災指導を行っています。そのほか、年間行事の防災訓練や操法大会に向けた練習があります。



地域住民に火災報知器等の聞き取りをする柴田さん(3月7日 春の火災予防点検)

## ▶印象に残っていること

入団してから、幸い大きな災害に出動することはなかったのですが、操法大会や普段の活動において一人ひとりが1つの目標や目的に向かって協力する熱い姿勢や、チームの一体感がとても素晴らしいと感じています。

## ▶入団を迷ってる同年代へ

消防団を職場や友人関係以外のもう1つの交流の場として捉えると良いと思います。さまざまな分野の人が集まっているので、情報交換したり、視野を広げたり、新たな発見があると思います。消防団活動で得た経験や人脈をプライベートに還元することで自分の成長にもなります。参加を強制されることはないので、自分の時間とのバランスを考えて活動することができます。

## ▶今後の抱負

災害対応や操法、すべてにおいてチームワークが必要なので、部員とのコミュニケーションを大切に日々の活動に取り組みたいです。



町消防団消防競技大会ポンプ車操法の部優勝を喜ぶ柴田さんと団員の皆さん(第2分団第3部提供写真)



火災発生時の対応(第2分団第3部提供写真) 火災発生時の対応(第2分団第3部提供写真)



町総合防災訓練



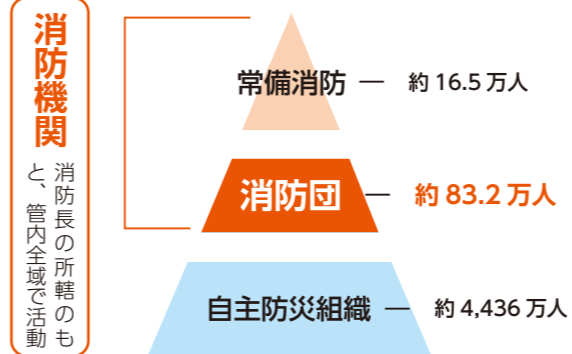
町消防団消防競技大会



町消防出初式

# 特集 金ヶ崎町消防団 地域を守る消防団

※全国人数(令和2年発行総務省消防庁パンフレットより抜粋)



**消防機関** 消防長の所轄のも と、管内全域で活動

消防団とは、消防組織法に基づき、市町村に設置される消防機関です。地域における消火防災のリーダーとして、平常時・非常時を問わず、地域に密着し、住民の安全・安心を守る重要な役割を果たしています。

**消防職員との違い**  
消防職員は専任の職員として、消防本部や消防署に勤務しています。一方、消防団員は自営業や会社員など、自分の仕事をしながら、火災や大規模災害発生時に現場へ出動し、地域のために自主的な奉仕活動を行っています。

そのほかにも特典や補助を利用できます！

## お得な団員特典

「いわて消防団応援の店」登録店舗で団員証を提示すると、お得なサービスを受けれます。



## 準中型免許取得補助

消防ポンプ車の運転に必要な「準中型自動車免許」を取得するための費用を全額補助します。



## 消防団員の報酬など

報酬	年額 36,000 円 (階級が団員の場合)
出動手当	災害出動：3,000 円 / 回 訓練・防災指導など：1,500 円 / 回
退職報奨金	5年以上勤務した場合に支給されます。(例：5年勤務して退団した場合 20万円)
その他	公務災害補償制度、被服の貸与も万全です。

## 消防団員募集中！

町消防団では、団員を随時募集しています。町内に居住または勤務する18歳以上の人であれば、どなたでも入団できます。お気軽に生活環境課または地域の消防団員にご相談ください。

☎ 生活環境課(内線 2134)



町総合防災訓練のようす

**▼地域に欠かせない存在**  
地域防災に欠かせない重要な役割を果たしている消防団員です。地域の火災や災害にいち早く対応できる地域密着の消防団であり続けるためにはより多くの団員が必要です。

**▼消防団の仕事**  
災害時には消防本部の指示のもと、消防活動を行います。平常時には地域で火災予防のための啓発活動や訓練などを行っています。

**【災害時の活動】**  
▼消火活動・残火処理▼捜索・救助活動▼水防活動▼避難誘導など

**【平常時の活動】**  
▼消火・操法訓練▼地域行事への参加▼防火啓発など